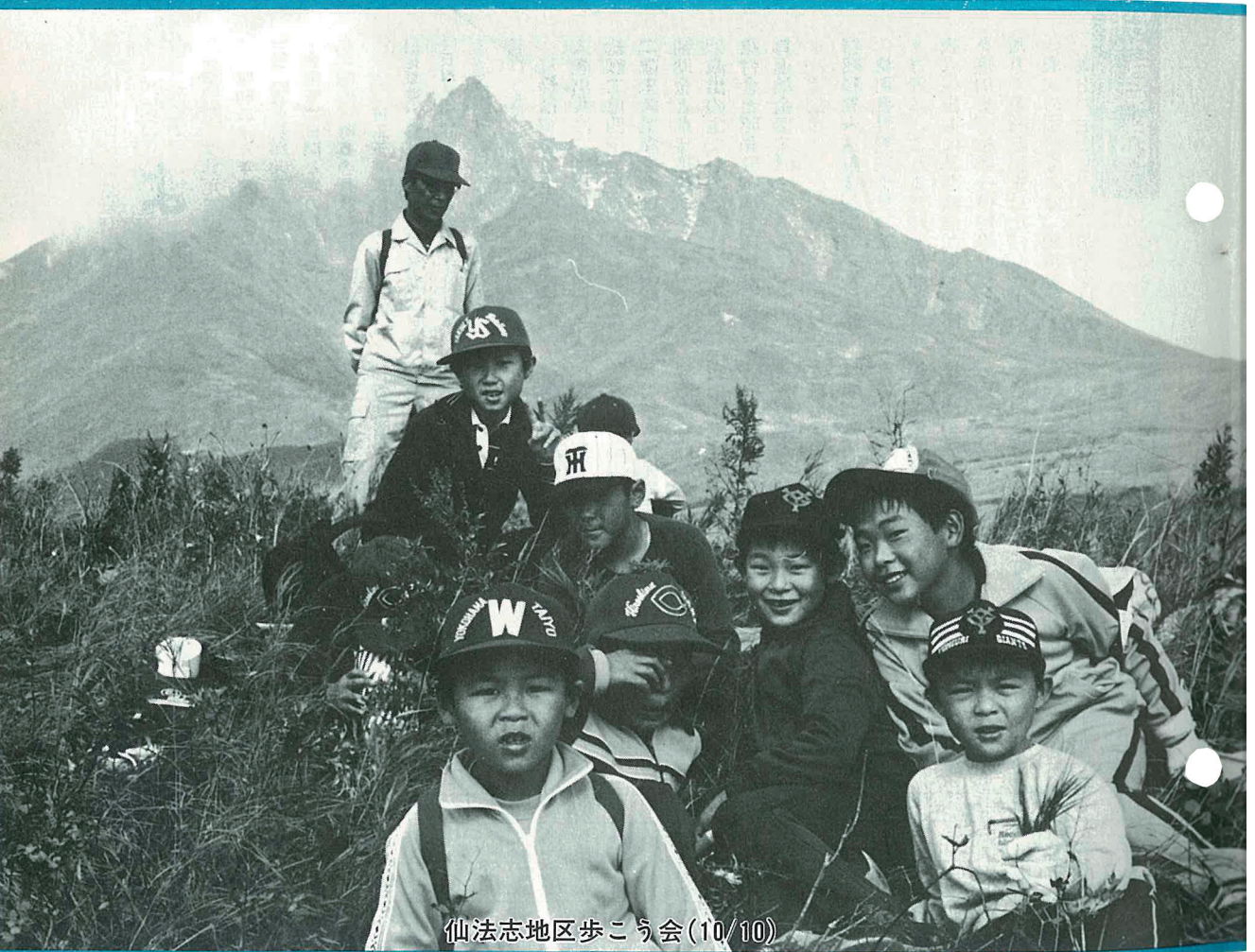




11

月号

No. 152



仙法志地区歩こう会(10/10)

人口と世帯

	前月比
世帯数	1,446
人口	5,694 (-10)
男	2,861 (-7)
女	2,833 (-3)

昭和58年9月末日現在
(住民基本台帳登録人口)

おもな内容

- 2……議会だより
- 3～5…町政に対する一般質問
- 6……国民年金だより
- 7……りしりの博物誌(8)
- 8……あなたと保健室
- 9……交通安全だより
- 10……青少年の豊かな心を育てよう
- 11……郵便局だより
- 12……秋の全国火災予防運動
- 13……新入学児童をもつ父母の皆さんへ
- 14……戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録11月1日現在776日



議

会だより

昭和五十八年度第七回利尻町議会（定例会）九月二十一日開かれ、会期を二日間と定めたあと、諸般の報告、町長の行政報告、ひきつづき、補正予算案他について審議し原案どおり可決し、日程より一日早く終了いたしました。

その内容は次のとおりです。

◎昭和五十八年度利尻町一般会計補正予算（第三号）

これは、これまでの予算額に、歳入歳出共に一億一千三百十万円を追加し、総額二十五億二千八百六十万円としました。

歳入の主なもの、道補助金、前年度繰越金、町債です。

歳出の主なもの、総務費（日本近距離航空格納庫建設費補助金）水産業振興費（漁場管理用レーダー及び船揚場新設事業費）消防事務組合負担金等です。

◎昭和五十八年度利尻町国民健康保険事業特別会計補正予算（第一号）

これは、これまでの予算額に、歳入歳出共に二百八十九万一千円を追加し、総額一億四千九百六十九万一千円としました。

歳入の主なもの、繰越金です。歳出の主なもの、基金交付金返納金です。

これは、これまでの予算額に、歳入歳出共に三千三百万円を追加し、総額二億四千二百万円としました。

歳入の主なもの、高額療養費補助金と前年度繰越金です。

歳出の主なもの、高額療養費給付金と昭和57年度国庫補助金精算返納金です。

◎昭和五十八年度利尻町老人保健特別会計補正予算（第一号）

これは、これまでの予算額に、歳入歳出共に二百八十九万一千円を追加し、総額一億四千九百六十九万一千円としました。

歳入の主なもの、繰越金です。歳出の主なもの、基金交付金返納金です。

◎教育委員会委員の任命について
次の方が議会の同意を得て、任命されることになりました。

住 所	氏 名	職 業
岩手県本町	松野健三	商業

◎陳情等三号

国立病院、療養所の廃止や地方移管民営化に反対し地域医療の充実を求める陳情
総務常任委員会付託、閉会中の継続審議となりました。

◎陳情第四号

国鉄の分割、民営化、貨物、荷物営業の縮小、地方交通線の廃止駅の無人化促進に反対する陳情、水産農林商工常任委員会付託、閉会中の継続審議となりました。

◎陳情第五号

日雇健康保険制度の廃止、改悪反対、被用者保険としての改善、存続、確立を求める陳情
総務常任委員会付託、閉会中の継続審議となりました。

◎昭和五十七年度利尻町公営企業会計決算の認定について

一、利尻町国民健康保険施設事業会計決算
二、利尻町砕石事業会計決算

昭和57年度利尻町砕石事業会計決算

収益的収入及び支出 (単位円)

取 入			支 出		
区 分	予算額	決算額	区 分	予算額	決算額
事業収益	485,788,000	489,934,317	事業費	444,481,000	438,701,082
増 減	4,146,317		不用額	5,779,918	
営業収益	470,006,000	472,833,813	営業費用	386,693,301	386,693,301
営業外収益	9,482,000	10,939,504	営業外費用	3,080,000	7,781
特別利益	0	206,000	特別損失	52,000,000	52,000,000
繰越製品	6,300,000	5,955,000	予備費	2,707,699	0
増 減	300,000	345,000			2,707,699

昭和57年度利尻町国民健康保険施設事業会計決算

収益的収入及び支出 (単位円)

取 入			支 出		
区 分	予算額	決算額	区 分	予算額	決算額
事業収益	316,961,000	312,034,186	事業費	307,080,000	301,084,993
増 減	△4,926,814		不用額	5,995,007	
医業収益	213,415,000	222,833,230	医業費用	278,867,961	278,867,961
医業外収益	93,365,000	79,019,956	医業外費用	28,212,039	22,217,032
特別利益	10,181,000	10,181,000	予備費	0	0
					0

資本的収入及び支出 (単位円)

取 入			支 出		
区 分	予算額	決算額	区 分	予算額	決算額
資本的収入	17,226,000	17,225,706	資本的支出	22,582,000	22,581,309
増 減	△294		不用額	691	
企業債	4,900,000	4,900,000	建設費	8,430,000	8,430,000
国庫補助金	2,253,000	2,253,000	企業債償還金	14,152,000	14,151,309
出資金	10,073,000	10,072,706			691
					△294

以上の会計決算は認定されました。（内容は次のとおりです）



資本的収入及び支出 (単位円)

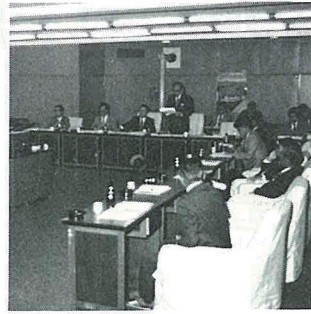
取 入			支 出		
区 分	予算額	決算額	区 分	予算額	決算額
資本的収入	17,226,000	17,225,706	資本的支出	22,582,000	22,581,309
増 減	△294		不用額	691	
企業債	4,900,000	4,900,000	建設費	8,430,000	8,430,000
国庫補助金	2,253,000	2,253,000	企業債償還金	14,152,000	14,151,309
出資金	10,073,000	10,072,706			691
					△294

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 2,779,000円は過年度損益勘定留保資金で補てんした。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 5,355,603円は過年度損益勘定留保資金で補てんした。

町政に對一般質問

このたび開かれた第七回定例町議において、次の一般質問がありました。その質問、答弁の要旨は次のとおりです。



質問

一、防災無線の設置について

私共視察団は、防災無線に関心を持ち九州の離島下甌村を訪れ実態を掌握いたし、これを議会に報告しその内容は町長もご承知のこと、と思いますが、その後秋田沖大地震が突如として発生、連絡の不備等もあり多数の人命を失い気の毒に堪えないと同時に無き方々の心からのご冥福をお祈り致すところであります。また、その波及によって北海道虻尻島までが災害の犠牲となって誠にお気の毒に堪えないところがございます。最近

のテレビ等を見ても、いたる所で防災訓練が実施されており、有事の場合を考えての事であろうと思えます。私共離島に住居を有する者として、孤立無援の様なものであり、従いまして59年度の事業として防災無線設置に全力を尽すべきであると思うが、古人の諺に「災害は忘れたころにやってくる」と申しますが町長の御見解を賜りたい。

二、港湾に利用する原石採取について

町碎石現場地帯の玄武岩の埋蔵量の見透しはどうか。港湾に用いる原石の需要は大と考え、町碎石として十分需要をみたす生産計画はあるのか、どうか、又、他に求めようとしているお考えなのか、確たる御意志を賜りたい。

三、バス路線の新設について

町道種富町北浜五線より柴浜に通じる海岸線に対して、朝の登校時、夕の下校時の二便を、バス冬季ダイヤとして地域住民共々要望

いたしますので、実現に特段の御配慮を賜りたく、町長のお考えを伺いたい。

答弁—町長

只今の二質問にお答えいたします。防災無線の関係ですが、本機は今の金額でほしい一億一千万円くらいかかる訳です。これについては、振興補助の制度がありますが、各戸の受信機が一戸あたり五万円程かかり、これが、七千五百万円から八千万円くらいかかる訳ですが、これは補助の対象にはなりません。陸地の他の町村でやっている所は、農協とか漁協が付けているのがほとんどですが、仮に利尻町がやるとするならば各戸に負担させるとすることが可能かどうか、これが無理だとするならば町が全額、負担してつけなければならぬという問題点があります。従って確かにご指図のように一年でも早く付けたいということは内部でも考えておりますが、災害でもあつたらどうするかというご指図もあろうかと思っております。59年度は病院をはじめいろいろな事業があり、他の事業をやめれば別ですけれども私はやはり59年度ははつきり申し上げまして無理であらうと思っております。60年度以降で

できるだけ早い機会に実現にむけて最大の努力をしなければならぬと考えてます。

二番目の港湾の原石採取の関係ですが、一点目の埋蔵量については皆さんもご承知のように土表は厚いけれども50年や100年取っても取りきれぬものではないと考えます。各所をボーリングして埋蔵量を調べればわかるのですが、これをやるとボーリングだけで八百万円以上もかかる訳で、そこまで金をかけてボーリングの必要もないかと存じます。それから二点目の港湾の関係ですが、現在の碎石の規模と作業からして皆さんもご承知のように碎石を主として島内と礼文と一部稚内に供給しており、従って中割、大割の素石のようなものはどちらかというあまり積極的にはやっていないというのが現状でございます。しかし、港湾についてはどうするかということですが、沓形港も仙法志港についても、開発建設部では、特定の石を指定しているのではないの他の地区からもってきて使うのもあれば町の碎石ばかりでなく、民間業者の石もつかけています。当町だけが特許をもって専有しているというのではない訳です。しかし、地元ですから町の石を最短期

距離にある沓形港へ納入すべきだということ考えて進めていることは事実でございます。今後、この大割

質問

一、我が町の広い意味での特産品の開発について

永い間議会は勿論、商工会でも漁組でもその他、町内のあらゆる会合で論議され、話し合われそして待望され続けていると云つても過言ではない重要な事柄の一つに「特産品の開発」の必要性があります。然し永い間議論され、その都度みんなが賛意を表しているにもかかわらず、これといった結果が出ない現状を、仕方ないと放置してよいのだろうか。横路知事はこの事を古くて新しい問題として

道政の重要な柱にし一町村一品運動として呼びかけております。早々、その呼びかけに応じて、道の援助を受けて新たな活動を開始した町村も数多くあるようですが、それらの町村は一朝一夕の努力や一時のおもいつきでできたのではなく、過去の努力の積み重ねと、行政の強力で粘り強い指導援助があったからだと思います。又、九月八日の道新に中小企業庁が59年度から実施を目指す「過疎地域小規模事業者活性化モデル商工会事業（村おこし事業）」の概要を明らかにした。それによると、過疎地の商工会が主体となった特産品づくり、観光開発の事業に対し国と道が手助けをすることになっていきます。補助金交付を考えている（村おこし事業）とは

- (イ) 地域の一次産品や伝統的な技術を生かした、特産品開発のためのアイデア募集、試作活動
- (ロ) 観光資源の開発を狙った各種調査、PR事業。
- (ハ) これらの地域産業の振興策に対する住民の意識、啓発や人材育成などとなっています。中小企業庁がこころした事業をとり上げるのは過疎地には地域全体に活力を吹き込み、人口の流出防止や地域経済

の沈滞に歯止めをかけるためである。そこで、商工会をリーダーとする地域ぐるみの産業振興策を奨励、普及させることにしたと云ふ。然し、現実問題として我が町の商工会が現在の陳谷と力量で「村おこし運動」のリーダーシップをとれるだろうか。残念ながら無理ではないだろうか。そこで私は一寸考えました。我が町の水産振興、特に現在脚光を浴びている昆布、ウニの増養殖事業の成功は、漁業者自身のたゆまざる努力と、漁組のリードの結果であることは勿論であるが、それだけでここまでこれたのだろうか、かげに陽に指導協力された水産技術指導員や町及び町職員の昼夜をわかつたぬ努力と、行政と強力な財政援助があったればこそと考えられます。故に、多年の懸案である表題の「広い意味での特産品開発」については町が中心となり、国、道の流れに乗って活動できるプロジェクトチームを作って、活発に忍耐強く動く時が来たと考えますが、町長のお考えをお聞かせ下さい。

- 二、町史編さん準備の進捗状況と今後のスケジュールをお聞かせ願います。
- 三、生活雑排水処理施設について

沿岸漁業を基幹産業とする我が町に於て早急に解決しなければならぬ課題の一つとして、海岸を汚染する「生活雑排水の処理施設の整備」があります。この事は、町民ひとしく周知していることで、しかし、公共下水道の整備は地理的にも膨大にかかるであろう建設費や、効率の面にしても、又、直接的住民負担等問題点が多くて当町の現状では実現困難であると考えられます。とすれば、恒久的でそして下水道のような多額の建設費を要しない。しかも事後の維持保守が容易で管理費の少ない生活雑排水の処理施設ができないだろうか、建設運営している町村がないだろうか。と、いうことで平取町の施設を議会活動の一環として視察したことの詳細は報告書に記載したとおりですが、上記の諸条件を考えたとき、平取町の「ミニ下水道方式」は、我が町の今後の生活雑排水処理施設の建設に大変参考になると思います。特に汚染の進んでいる地域に対して、早急に設置を検討すべきであると思います。そして、沿岸水産資源の保護育成を図るべきです。町長のお考えを聞つ。

答弁一町長

受賞おめでとう

北海道産業貢献賞

林野火災警防事業功労者
白幡茂一郎（杵形字緑町）

北海道産業貢献賞を白幡茂一郎氏（林野火災警防事業功労者）が知事から受賞されました。

白幡氏は昭和24年杵形本町森林愛護組合に加入、以来昭和51年、杵形本町森林愛護組合長、昭和52年杵形森林愛護組合連合会長を就任、山火事の予防と森林資源の必要性を強調し、国有林、町有林の



巡視を始め、その警防活動が認められ今回の受賞となりました。

利尻町選挙管理委員会
表彰される

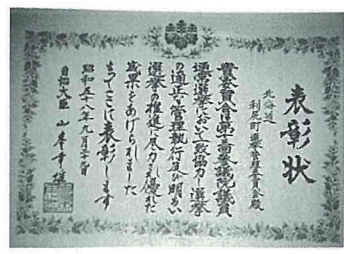
去る六月二十六日執行された第十三回参議員議員通常選挙において、棄権防止と明るい選挙の推進を図つたことを認められ去る九月二十九日自治大臣表彰を受彰しました。

利尻町選挙管理委員会

ここに町民皆様のご協力と明るい選挙推進委員の方々のご尽力に対し厚くお礼申し上げます。

今後共、選挙権行使の重要性等の認識を新たに、「明るい選挙で、

明るい利尻の発展」のため、投票



只今の質問にお答えいたします。特産品の開発について詳細にわたりお考えを申し延べられましたが御説のとおりだと思います。私も町長に就任し、この五年間まず、海から生産を上げることが急務で先決だということで、これを目標に皆さんと一諸に力を入れてきましたが、この漁場造りについてはある程度の見通しもたつてきましたし、年次計画も着々と進んでおりますので、次はご指適のようにそれをいかにして付加価値を高めこれをいかにして売るか、そして働き場をつくるかとゆうことが、大きな問題だし急がれる問題だと考えます。町民からも何とかしなければという声も異口同音に聞こえてくる訳で、実際には具体的なものがさつぱり進んでいかないとこのが現状であります。

私はやはり町長どうするんだというより、この問題は町民の中のそうしたことに深い理解のある方それから知識のある方々の、いわゆる町民の英知を借りて、これからは進まなければならぬと思います。そのためには、ご指適のようにプロジェクトチームなどは確かに大事なことのつだとはいえませんが、専門的な知識のある人、意欲のある人でプロジェクトチームを

作ったり技術取得のために若い人方を先進地へ派遣するなどでもてくれると思います。そういうことで、この特産品や水産加工、観光について開発を重点的に進めて行く考えです。

次に町史編さんについてですが現在の進捗状況は30%程度でございます。一人でいろいろ資料精査をしている訳ですが、現在のスタックで進めるならばあと五年はかかると思えます。それでは相当年数がかかるので今年いっぱい資料の整理をした段階で専門的な編集については人を頼まなければならぬと思います。そうした人をまづ頼んでその人の指導のもとに、更に資料の補充をしながら、あと三年くらいでまとめるように進めさせていきたいと思います。

三番目の生活雑排水の関係ですが、町でもいろいろ調べましたがご指適のあった平取町のミニ下水道方式というのがやはりここに最も合っているし適当なように私も考えております。平取町の場合は団地にこまかく作っておりますけれども、この場合はご承知のように海岸がこのとおり石ばかりで工事が相当かかるという難点がある訳ですが、来年度ひとつ町内でもっとも汚水のはげしい泉町地区

を何とか手がけたいと計画を立てております。設置費がだいたい六千万円くらいかかる訳ですが、これについては必要なものなんです。が、国の補助はつかず一般単独債でやらなければならぬという難点があります。しかし、ご指適のようにこれから海藻類や魚貝類を育てて行くという我が町の方針からしてかせない大事なことでですので、何とか手をつけてみたいと考えます。その結果また将来的に財源を見ながら数をふやすことと努力いたします。

出稼ぎのない町を自ざし離島地方問題懇話会開催

去る九月二十八日利尻町民センターを会場として、職業安定所、労働基準監督署、職業訓練校、利尻三町など関係者が集って、離島における労働問題について話し合いました。特に近年、出稼先の不振に伴ない、季節労働者の就労は、相当きびしいものがあり、現場の立場から、雇用の安定等を強く要望され、また、出稼労働者の高令化がすすむ現在、就労先がせばまれることなどの状況をふまえ、「出稼ぎのない町」を自ざし、地場産業の開発等について有意義な話し合いが行なわれました。



『利尻町クリーン作戦』展開

各自治会内を清掃



空き缶の投げ捨ては

「空き缶ゼロの日」の十月二日、町内各自治会一斉に空き缶等の回収活動が行なわれました。この日は天候に恵まれ各自治会から約八〇〇人が参加して「家の周り、道路ぶち、空き地等に散乱する空き缶、空きびん等、車で十台（二七車）集められました。町内のみなさんの協力で、清潔で潤いのある「クリーン利尻町」になりました。今後共、町民、関係団体のご協力をよろしくお願いたします。



絶対にやめましょう!

国民年金だより

国民年金で確かな老後

平均寿命

〓 どんどん伸びる

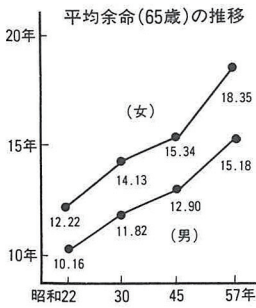
私たち日本人の平均寿命は毎年伸びており、世界でも有数の長寿国となりました。

65歳の平均余命は、男子15年女子18年となり、現在65歳の男子は80歳、女子は83歳まで長生きできる計算になります。

しかし、長い老後を過ごすにはしっかりとした生活のささえがなくてはなりません。歳をとれば思うように働けなくなり、当然収入もなくなります。

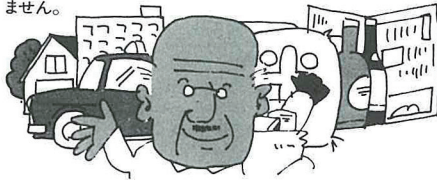
そのとき、役立つのが国民年金です。

国民年金は老後ばかりでなく、からだが不自由になったり、不幸にして一家の働き手をなくしたときにも、生活の支えとなってくれます。



国民年金5つのポイント

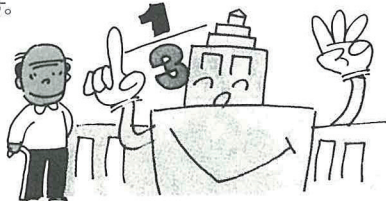
年金額は、物価にスライドして、その時の生活水準に見合った年金額をうけることができますので、目減りすることはありません。



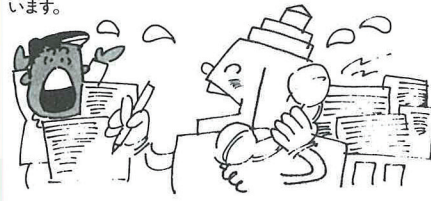
納付された保険料は、全額所得から控除され税金が安くなります。



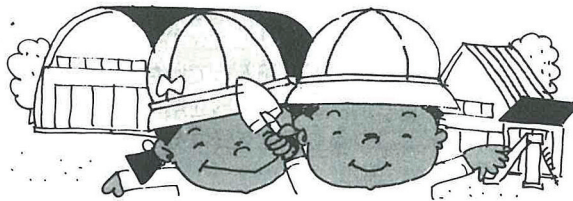
年金をうける額の3分の1に相当する分を国が負担しています。



年金制度を運営するための事務費は、全額国が負担しています。



保険料の積立金は、みなさんが将来年金をうけるための資金として積立てられていますが、一部はみなさんのまちにある保育所、福祉センター、体育館などの建設費として市町村に融資されております。



年金は世代と世代の支え合い

年金制度は、若い世代がお年寄りの世代を社会全体で順送りに扶養しながら同時に、若い世代が将来、お年寄りのためにもあるしく、若い人のためでもある制度です。

交通事故死 0 目標1000日

達成日 昭和59年 6 月12日

- スピード・ダウンで安全運転を
- シートベルトは必ず着用しましょう

利尻町交通安全推進協議会

りしりの博物誌

利尻に伝わるわらべ唄

明治初期、果北の離島に漁業資源を求めて渡来してきた人々は、北海道本島、青森、秋田を中心とする東北地方、富山、石川、福井などの北陸地方など、さまざまな地域におよんでいます。

それらの人々は、それぞれの地方のいろいろな伝統を受け継いで、利尻へもちこんできました。生活用品類や漁業に関する資料、道具類など、形にはつきりあらわれているもののほか、信仰や言葉や風俗といった形にあらわれないものなどがありました。

しかも、そのようなものは、利尻において、幾年もの年月の経過や、いろいろな地域の人々が接触交流するなかで、次第にもとの姿をかえつつ、世代交代のつど、時代に必要な形につくりかえられ、より利尻的なものになってきました。

今回、ここに紹介するわらべ唄は、そのような形としてあらわれないもので、人から人へ受け継がれてきたものであります。博物館では、今年に入ってから、調査したわらべ唄を現在、整理している

ところですが、今回は、それらのなかから、いくつかを紹介しています。

もともと、わらべ唄は、親子どもにうたってきかせたり、子どもどうしでうたったもので、あそびとはきいてもきれいな関係にあります。

おひとつ

おひとつ おひとつ

おひとつからんでおふたつ

おふたつ おふたつ

おふたつからんでおみつ

おみつ おみつ

おみつからんでおよつ

およつ およつ

およつからんでおみんな

おみんな おみんな

おみんなからんでざらり

おつさいらいし おつさいらい

し

おんねんがえし おんねんがえ

し

お手むの唄である。あやことい、古い丹前や着古した木綿のぼろで作り、中にあずきを入れて作

った。明治から大正、昭和にかけてうたわれたものである。

他に、あやこの唄は、

さんようさんのはげ頭

朝から晩まで車ひき

はなみずたらししてポーロポロ

じいーばば とよ (大正期)

じいーばば にじゆ

じいーばば さんじゆ

じいーばば しじゆ

じいーばば ごじゆ

(大正期)

このように唄い、あやこをつきながら、100までうたい、100までいっただら、とよにもどり、順次くりかえしていく。

むかしのあそびで、「まりつき」

も代表的なもののひとつであった。

おんじよ おんじよろめっこ

きくりやの おおふりこ

五両で帯かた

三両で くけた

今年はじめて花見にいった

知らない男に帯とめられて

痛や離せや

わしや帯とける

とけた帯なら結んでもあげよつが

きれいな帯なら結ばれぬ

秋田県から渡来してきた人々がうたっていたもので、明治―大正期にうたわれていたものです。

青森県から来た人々が唄っていた唄は、

くぼの横ちよの 坊さまなんぞ

は

人の娘をかくしておいて

カゴにかくして おちよつけた

おちよ17 坊さま20

これでおちよと まつかわそっ

はば

けさもかけまい ころもきま

い

しんじやくる三年みそ

四年タイコで さいさいさい

またきてとられて さいさいさい

い (明治―大正)

かつて、七夕はさかんであった。

仙法志では、子供たちが青森県の

ねぶた祭にみられるような山車をつくり七夕のうたをうたいながら

家々をまわり歩いたものだった。

今年しや豊年

七夕まつりよ

ろーそくだせ だせよ

ださないば

かつちやくぞ

おまけに くつつくぞ

道具を使ったあそびとは関係ありませんが、節分のときなどは、次のような唄をうたっていました。

(明治―大正―昭和) もらったらーそくはお金にかえて山車の費用や子供たちで分けあ

っていました。

加藤清正 むかしの武士で

カントマメ 3ジョウウくて

おはらがタイコで

オシリがラッパで

プカドン プカドン

このようなわらべ唄は、利尻の

なかでもその地域地域によって多

少ちがっています。

わらべ唄は、親から子へ、子

どもから子どもへと、常に人と人

とを結びつける役目をもっています。

現在、私たちは、親が子ども

のうたを知らないことがよく聞

かれます。子どもは子どもの世界

が大人の世界とはまったくかけ離

れてしまっているのですよ。

わらべ唄は、そのように人と人

を、大人と子供ども、子供どうし

を密接に結びつけるはたらきがあ

り、同じ世界をつくりあげるもので

した。私達の今の時代に欠けてい

るものではないでしょうか。

あなたと保健室

一般診査を終えて

毎年行っていた成人病検診を今年は、一般診査と名称を変えて実施致しました。

まだ名称に慣れていない為か、今年を受診者が非常に少なかったのですが、平日頃、病院にかかっている人は、自覚症状が出てくる前に病気を見つける為にも、ぜひこの一般診査を受けるようにしましょう。

さて今回は、積極的に検診を受けられた皆さんに、その判定を役立ててもらえたらと思います、対応のしかたも一諸のべてみたいと思います。

○ 検診用語の意味について

異常なし：あなたは、今回の検診では健康上問題となるような結果はみられませんでした。という判定です。しかし、来年も「異常なし」とはかぎりません。定期的な検診は必要です。

要注意：生活上の注意、健康管理の仕方健康がかとれるという一番大切な区分です。保健婦もお手伝いいたしますが、自分でも大いに努力して下さい。

要精検：検査の数値が、正常範囲より高かったり、異常な部分が見られたものです。病気の有無や、程度をさらに



くわしく調べてもらうための忠告です。放っておかずにぜひ調べてもらって下さい。

要医療：これは文字どおり、検査の結果、異常と思われる部分がありましたので、早く治しましょう。という事ですから、きちんと治療して下さい。特に、自分勝手に治療を止めてしまわないようにしましょう。

○ 検診の結果から

肥満といわれたら：

軽い肥満の場合は、さほど心配はありませんが、高度の肥満になりますと、糖尿病、高血圧、心筋梗塞、痛風など、成人病にかかりやすくなります。標準体重より20%以上も多い人は肥満です。標準体重に近づけるような努力が必要です。

血圧が高いといわれたら：

一度だけの測定で決められるものではありません。日をかえて相談室等で

何回かはかりましょう。ただ、一回の測定でも脳卒中の恐れがあるという程高い血圧の場合は治療の対象となります。

高血圧の治療は、長期間にわたるのが普通です。服薬によって血圧が下がり、自覚症状がなくなっても、治ったということにはなりません。また、医師が「血圧が下がりましたね」とか、「血圧がいいですね」と言っても治療をしなくても良いと言う事にはなりません。本当に薬が不要になれば、薬は出されません。あせらず正しい治療をつづけて下さい。

貧血といわれたら：

貧血は、血液がやすい状態のことです。血液中の色素の濃度や赤血球の数が少ないのを貧血といいます。貧血の原因も数多くあり、その原因にあった治療が必要とされますし、放っておくとだんだん健康にさしざります。ただ、貧血の場合、貧血と言われて食事には注意をしたからといって二、三



日で治るものではありません。今迄の食生活の積み重ねが原因の事もありまし、他に病気がある事も考えられます。まず原因を調べて、その上で正しい治療と貧血をなおす食べ物を正しい食事の中で取り入れることが必要です。

糖尿病の疑いがあるといわれたら：

糖尿病の初期は、自覚症状がありませんから、健康診断で見られることが多い病気の一つです。もし、糖尿病の疑いがあるといわれたら、ぜひ、くわしい検査を受けましょう。糖尿病は、多尿、口のかわき、多飲、疲労感などの症状があらわれるといいますが、これは、かなり病状が進んでからです。はじめは自覚症状のない病気ですから気をつけましょう。

○ 健康管理の注意

- 一、健康診断を毎年受ける。
- 二、総合判定にしたいましよう。
- 三、生活の管理を行いましよう。
- 四、根気よく治療を続けましよう。
- 五、栄養のバランスを考えましよう。
- 六、休養と睡眠をとりましよう。
- 七、ストレスを解消しましよう。
- 八、医者と仲良く、相談できるようにしましよう。

保健婦 平野・記

交通安全



「ゆとりと思いやりの心」から交通事故防止——ドライバーにとっても、歩行者にとっても大切なのは、「心のゆとり」とお互いに相手の立場を尊重する「思いやりの心」です。

特に気候の変化に伴ない道路の路面の変化が著しいこの時期、交通事故を防止するためにも「ゆとり」と思いやりの心をもつて安全運転、安全走行を心掛けましょう。

スピードの出し過ぎは自殺行為

最近の交通事故死亡原因のなかで目立つのは、制限速度を超えたスピードの出し過ぎによる事故が大幅に増えていることです。

そもそも、自動車の制限速度というのは、自動車の種類や道路の状況などを考え、危険を未然に防

止し、交通の安全が保てる速度というところで指定されているのです。ですから、スピードの出し過ぎは自ら危険を冒し、死への道を進んでいるのと同じことです。ドライバーの皆さんは「スピードの出し過ぎは事故につながる」ということを心に銘記し、制限速度内で走ることを心掛けましょう。

飲酒運転防止は

三ない運動の実践から

お酒を飲むと、自分では酔っていないと思っても、感覚は麻痺し、素早い判断や行動ができなくなり、気が大きくなり危険を危



険とも思わなくなってしまうなど非常に不安定な心理状態になります。つまり、飲酒運転は交通事故と背中合わせになっているのです。

飲酒運転の防止には、ドライバー自身が気を付けるだけでなく、家族、地域、職場ぐるみの注意も必要です。

そこで、ぜひ次の「三ない運動

を実践してください。

▽飲んだら乗らない

▽乗るなら飲まない

▽乗るなら飲ませない



歩行者の安全な横断は

自らの手で

歩行者も、つい先を急ぐ気持ちから、いきなり道路に飛び出したり、無理な横断をしたりする光景が目につきます。

はやる気持ち、あせる気持ちは歩行者にも禁物です。自らの安全は自らの手で、を合言葉に、交通事故に遭わないために次のことを実践しましょう。

◎道路の横断は完全に渡れる場所を選んで横断しましょう。

◎横断するときは必ず、安全を確かめて速やかに渡りましょう。

◎自動車の直前直後の横断はやめましょう。

◎夜間の外出は、夜光反射材の付いた服などを着用する。

利尻建設協会

沓形交通安全協会に

交通安全塔を寄贈

利尻建設協会（会長吉安隆也）は、栄浜に交通安全塔を建設、沓形交通安全協会に寄贈、この交通安全塔は、燈台をモデルにした、回転灯つきのもので、ゆつくり走ろう利尻島、交通安全は家庭から等の標語入りのもので、歩行者、



運転者の交通安全意識の高揚に役立つものと関係者一同喜んでおり、さっそく、去る九月二十七日、記念を兼ねて、啓発運動を実施いたしました



免許証更新時講習会

- 11月25日(金)
 - 利尻町保健福祉館(沓形)
 - 午後6時30分
 - ※当日は時間を厳守され、必ず受講しましょう。
- 沓形、仙法志交通安全協会



交通安全は

家庭から

青少年の 豊かな心を育てよう

11月は全国青少年育成強調月間
子供たちの
健やかな成長を願って

子供たちの行動や生活態度には時として、他人に対する甘えやおごりが目立つことがあります。これは、一つには子供たちがまた社会の仕組みやしきたりをよく知らないため、と考えられます。もっと世の中のことを理解させるとともに、自分を厳しく見つめ、行き過ぎた行為をしないよう自らを戒める——こういう生活態度を身につけさせたいものです。

豊かな体験が

自己を確立させる

一方、子供たちの自主性や活動力を育てるには、ふだんの生活の中で、年齢に応じて一定の役割と責任を与え、幅広い体験をさせることが大切です。また、家事の手伝いなど、汗を流す勤労の経験も貴重です。

●「汗を流して働く喜びを味わせよう」

●花いっぱい運動——学校や家庭で「一人一鉢」を実践する。

●子供会や学校などで、みんなが参加してイモや野菜などをつくり、収穫を祝う集いを開く。

他人を思いやる心

世の中を知って

自分を見つめる

社会という人間の集団は、他人との共存によって成り立っています。他人に対する信頼感と思いやりの心こそ、社会生活をスムーズに送るうえで欠かせないものです。そのためにも、人との出会い、触れ合いを大切にし、「対話」の機会を増やす工夫と努力の大切さを理解させるようにしましょう。

●抑制も大切ですが、一方では、豊富な生活体験を通して自主性や活動力を養い、自ら考え判断することの積み重ねの中で、自己の確立を図っていくことにも留意したものです。

世の中を知り自己を 確立させるために

◎目標を立てて

いろいろな体験をさせよう。



高齢者

スポーツ大会

去る九月二十八日利尻町民屋内運動場(仙法志)において下田町の六十五歳以上の老人、約一五〇名が参加して高齢者スポーツ大会が開催されました。

開会式のあと、さっそくフロッグラムに入り、玉ころがし、ビン釣り競争、綱引などが行なわれて、老人たちもこの日は、笑いのうずの中で、楽しい一日を過しておりました。

若さで

ハッスル





●年賀状で新年のごあいさつを

—お年玉つき年賀はがき、十一月四日発売—

お正月に年賀状を交換する麗しい習わしは、近年ますます盛んになってまいりました。日ごろお世話になっている方やごぶさたしている方へのあいさつなど、心をこめて結ぶ大切なコミュニケーションのひとつにもなっています。

十一月四日(金)から発売するお年玉つき年賀はがきの道内での発売枚数は二億七七〇万枚です。

このうち、一三七〇万枚については、昨年同様裏面に新年にふさわしい絵柄をカラー印刷して、三円の寄附金を含めて四五円で発売します。なお、裏面の絵柄は全国版二種類のほか、道内版一種類(図柄は粟谷川健一先生が原画を製作した「白樺の朝」、あわせて三種類の絵入り年賀はがきを発売します。

お年玉つき年賀はがきに付けられた寄附金は、がんの研究や治療のための機器整備や、おとしよりのための施設等に贈られ、社会福

祉の増進にも役立てられています。今年も美しい絵入り年賀はがきで、新年のごあいさつとあわせて社会福祉等へのご協力をお願いいたします。

●郵便小包が一層便利に

郵便小包は、次のように、より便利でご利用しやすくなりました。

(一) 速達小包は空輸します。遠距離あての速達小包は航空機を利用して、受取人の方へより速くお届けしています。例えば、普通小包の場合は、札幌と東京間は五、六日、また札幌と大阪間は五、六日かかる。速達小包の場合、いずれも二日でお届けしています。

(二) まとめて出すとお得です。一般小包を一〇個以上まとめてお出しになると九個までは二〇%、一〇〇個以上は二五%の料金割引をします。

(三) 料金が安くなりました。五十八年九月一日から小包郵便物の料金を重量によって六〇円、八〇円安くしております。

●有利性と便性を兼ね備えた定額貯金を

まとまったお金をより大きく育たてたい……これは、だれもが考え望んでいることですね。それを実現してくれるのが郵便局の定額貯

金です。定額貯金は半年復利でどんどん増えますから大変有利です。その上、便利さも兼ね備えています。結婚資金、老後や不時の出費の備えなどまとまった資金づくりのプランにぜひご利用ください。

●定額貯金の魅力

○半年ごとに元金に利子を繰り入れていく、「半年復利」ですから、長くお預けになるほど有利で、長期利殖に向いています。

○利率が預入後三年まで段階的に高くなり、しかもその利率は、預けた日にさかのぼって適用されま

すからとてもおトクです。○預入後六か月たてばあとはいつでもこの郵便局でも払戻しができる「自由満期」ですから大変便利です。

○急にお金が必要になった時、簡単な手続で「ゆうゆうローン」(貸付)がご利用になれます。

「毎月二十三日」は

「ぶみの月」です。



税を知る週間

税金は社会共通の

「より安定した豊かな生活を」というわたしたちの願いを実現するため、税金はいろいろな分野に使われています。社会福祉をはじめ道路や下水道の整備、住宅対策教育など。

税金は、国や地方公共団体が活動するための大切な財源ですからわたしたちが生活の向上と安定を願う限り、どうしても負担しなければならぬ社会共通の経費であるといえましょう。

このような重要な役割を果たしている税金について、納税者の方だけでなく広く国民の皆さんに税を正しく理解し認識していただくよう今年も十一月十一日〜十七日まで「税を知る週間」が行われます。この機会に、わたしたちの納めた税金がどのように使われ、どのような形で生活の向上と安定に役立っているのか——など、税についての理解を深めたいものです。



11月11日〜17日

「経費」です

(ご存じですか)

今年八月から、納税申告書の提出や納税などの期限が、その月の



第二土曜日に当たる場合は、その期限が、通常、翌週の月曜日まで延長されることになりました。

これは、毎月第二土曜日には銀行などの金融機関が休業し、郵便局の窓口業務も行われなくなったことによるものです。

この結果、例えば、十一月分の源泉所得税の納期限は本来十二月十日ですが、この日が第二土曜日に当たるため、納期限は十一月十二日(月)となります。

なお、詳しくは、税務署、または税務相談室でおたずねください。

秋の全国火災予防運動(11月26日～12月2日)

11月26日から12月2日までは「秋の全国火災予防運動」の期間です。ことは「点検は防火のじまり しめくり」を統一標語に一週間、火災予防運動が行われます。これから、ストーブなどの火の気を使う時期ですので、十分に気持ちを引きしめましょう。

●火災による死亡
昭和五十七年中の火災は全国で約六万件、時間にすれば、ほぼ九

点検は防火の

分に一件の割合で起こっています。火災による死亡者は約二千人。一日当り五人の命が奪われたことになりま

死に至った経過には「逃げ道を開違えた」「服に火がついた」な



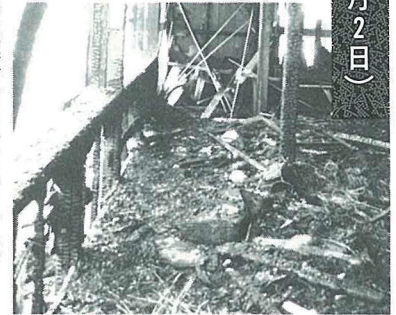
●消火器や警報器で
防火対策の充実を
あなたの自宅には、消火器があ
りますが、ガス漏れ警報器や火災

ど、避難中や消火活動中の事故も
あります。しかし、一番多いのは
「逃げ遅れ」です。死亡した人の
四〇％は避難の形跡がなく……
①火災にまったく気づかなかった。
②気づいたときには逃げ道がな
った。
これらが原因で命を落としたと
思われます。

●死傷事故が多いのは
午前一時～四時
火災からの「逃げ遅れ」を防ぐ

はじまり、しめくり

には、発生を早めに知ることです。しかし、火災はわたしたちが目覚めていざとばかり起こるとは限りません。実際、焼死事故が多いのは寝ている間の午前一時から明け方の四時にかけてです。火災の発生をすばやく知らせるまた、寝ている間の「見張り番」「火災警報器」をあなたのお宅に備えてはいかがですか。



警報器が備わっていますか。

火の始末に十分注意を払って
ると思っても、見落としはあるも
のです。火災から身を守るための
用心をするにこしたことはありません

寝ている間も

「火の用心」

せん。火の使用に注意するばかり
でなく、消火器や警報器などを備
え、防火対策を充実させましょ
う。きちんとした火の始末、火災警
報器、消火器……といった二重、
三重の火災に対する備えがわたし
たちに安全を保証してくれるので
す。

仙法志地区歩こう会(町民体育祭)

町民の健康保持、増進と体力づ
くりの目的で町民体育祭が、いろ
いろ行われその中で10月10日、仙
法志地区で歩こう会が実施されま
した。
当日は天候に恵まれ、秋晴れの
中、参加者は仙法志公民館前を出
発、目的地のボン山に登り無事に
参加者全員が到着いたしました。



「HTB杯利尻」

釣りのツアー開催

利尻町、杓形観光協会など主催
のH・T・B杯利尻釣り大会ツア
ーがこのほど利尻町において開催
されました。
札幌、小樽等からの参加者の中
に地元愛好者も参加し、磯釣り
大会を楽しみました。



新入学児童をもつ

父母の皆さんへ

教育委員会では、昭和59年に町内小学校へ入学する児童の学齢簿を、昭和58年10月1日現在で次のとおり作成しました。

つきましては、該当児童をお持ちのご家庭で、氏名もれ、誤字等がありましたら教育委員会(4-2445)へお問い合わせ下さい。尚、入学される児童は、昭和52年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた方です。

〈沓形小学校〉

氏名	保護者	住所
佐々木 到	克弘	日出町
百瀬 義剛	允洋	泉町
神田 讓	信英	〃
宮森 哲平	英明	本町
本堂 誠	正男	神居
鎌田 光玲	喜男	泉町
塩田 幸起	俊幸	本町
齊藤 智	順悦	神居
寺嶋 隼人	秀明	日出町
工藤 雄介	久史	泉町
中山 秀一	勝夫	種富町
不破 亨	豊	〃
齊藤 豊	寿美男	本町
西村 幸司	勝栄	日出町
齊藤 靖	俊明	〃

大野 宏明	貞幸	泉町
菊地 敏之	貞敏	神居
大沢 正二	正道	緑町
大津 奈津美	春美	神居
七尾 利春	宏美	富野
長内 まゆみ	豊	日出町
渡辺 慶子	清志	泉町
小柳 優子	一之助	種富町
田中 亜希	良和	富士見町
川代 優子	優	種富町
関 奈津絵	繁	泉町
柴田 かおり	茂男	〃
白幡 恭子	忠雄	日出町
車谷 里恵	清二	泉町
成田 ゆかり	納	富野
坂上 美穂	良司	本町
矢吹 奈都美	武雄	日出町
佐藤 香織	敏夫	神居
石川 あゆみ	卓矢	富士見町

堀川 真由美	正博	新湊
--------	----	----

中谷 知記	敏明	本町
上木 浩司	邦夫	元村
高橋 啓也	紀夫	御崎
柴田 俊輔	喜義	本町
滝谷 昭尋	千尋	元村
寺田 信也	信行	神磯

〈新湊小学校〉

〈仙法志小学校〉



三上 順也	博	政治
田中 留美子	一男	神磯
山本 ゆかり	隆夫	神磯
古川 しのぶ	有法	本町
小中 真奈美	俊男	〃
藤井 紗矢香	信幸	神磯

利尻町民文化祭

11月3日は文化の日です

利尻町民文化祭実行委員会では、利尻町における特色ある文化の創造活動や発展活動を通して、豊かな精神文化の創造とつるおおいある生活を実現するため「町民文化祭」を次の日程により開催いたしますので、町民各位のご参加(見学を、お待ちしております)をお願いします。

- 一、文化展示会 (11月3・4日)
- 二、詩吟交歓会 (11月3日 町民センター)
- 三、松野宅別館 (11月20日)
- 四、町内俳句大会 (11月27日 町民センター)
- 五、文化講演会 (11月中旬 町民センター)



- 一、文化展示会 (11月3・4日)
- 二、小中学生書道展 (沓形地区)
- 三、手芸、文芸作品展 (研修センター)
- 四、写真展 (11月5・6日)
- 五、華道展 (仙法志地区)
- 六、陶芸作品展 (利尻町)
- 七、茶道(茶席) (屋内運動場)

「利尻富士自然愛護少年団」



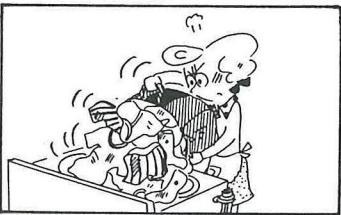
交通遺児の黄色羽根募金運動を実施

去る九月二十三日、利尻富士自然愛護少年団(團員十二名)は、秋の交通安全運動として、交通遺児に対する募金運動を実施し、進行中、町民の交通安全を呼びかけています。



さゆやかか君

西村 宗



発行 利尻町役場

編集 住民課広報交通安全係 ☎四二三四五番

印刷 旭川輪総北海

氏名 保護者続柄 住所
 嶋野 莉恵 一輝 二女(仙本町)
 谷 小雪 敏 長女 御崎%

氏名 住所
 小杉 和樹 緑町 %
 惣 万雪乃 緑町 %
 今野 禎彦 緑町 %
 白戸 智恵美 神居 %

仙法志字政治 駒井十一郎様から
 寄付金として
 杓形字日出町 高杉 勇様から
 父金助様の香典返しを廃して
 杓形字神居 中山チナ様から
 夫二郎様の香典返しを廃して
 杓形字新湊 大門武雄様から

杓形字本町 中瀬八千代様から
 夫繁義様の香典返しを廃して
 富山県 宗教法人普明会教団
 高岡支部様から
 寄付金として
 利尻町 社会福祉協議会様から
 寄付金として
 (利尻町社会福祉協議会)



お誕生おめでとう
しんごます

いつまでも
お幸せに



戸籍の うごき

自 9月1日
至 9月30日

おくやみ

申し上げます

氏名 年齢 住所
 辻 新太郎 七〇歳 神 磯 %
 中瀬 繁義 六七歳 本 町 %
 中山 二郎 七五歳 神 居 %
 高杉 金助 八四歳 日出町 %

ご厚意に

感謝します

このたび次の方から愛情銀行に
金一封が預託されましたので、紙
上を借りてお礼申し上げます。

離島航空運賃の割引について

離島住民の経済性を考慮し利便を図ることから日本近距離航空(稚内〜利尻・礼文間)の離島航空運賃を次のとおり割引することになりました

一、対象者・利尻町に住所を有する者に限る

二、対象区間・稚内〜利尻・礼文間の各航空路線

三、期間・毎年11月1日から翌年3月31日まで

四、割引する額・利尻〜稚内間 一一六〇円(復路も同じ)(片道六一六〇円が五〇〇〇円になります)

五、割引証の交付

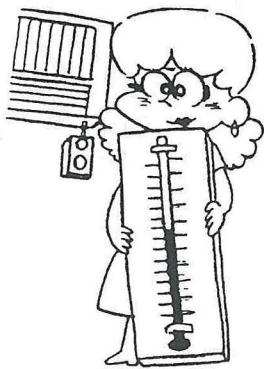
・割引を受けようとする場合は「離島住民航空運賃割引証」の交付を受け空港窓口へ提出するものとする。

・割引証交付場所 役場住民課窓口、仙法志支所

尚、詳しいことは住民課住民係へお問い合わせ下さい。



毎月1日は「省エネルギーの日」です



われら
町民

